富山市空き家総合相談窓口運営業務

提案書

提案者名

令和6年　　月　　日作成

1. 企業概要

|  |  |
| --- | --- |
| 本社所在地 |  |
| 設立年度 |  |
| 資本金 |  |
| 従業員数 |  |
| 主な業務内容 |  |
| 本業務に関連する事項 |  |

本社所在地、設立年度、資本金、従業員数、主な業務内容について記載するほか、本業務に関連する事項があれば記載すること。

1. 同種・類似業務の経験

|  |  |
| --- | --- |
| 物件概要 | 支援　/　解決内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

履行にあたり必要な要件調書（様式３）アで記載した実績について、具体的にどのような支援または解決を図ったかを記載すること。

1. 富山市空家等対策計画及び本業務への理解度

|  |  |
| --- | --- |
| 空き家に  関する課題 |  |
| その解決法 |  |
| 本業務の  必要性 |  |

富山市空家等対策計画を踏まえ、提案者として、空き家に関する課題やその解決法、本業務の必要性をどのように捉えているかを記載すること。

1. 相談受付業務の実現性

（ⅰ）相談窓口の設置及び受付体制の構築

相談窓口の開設場所や営業時間を提案し、その理由を記載すること。また、相談体制を確保できる人員や有資格者の配置とそれぞれの役割について明記すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 開設場所や営業時間、提案理由 |  |
| 相談受付体制について |  |

（ⅱ）伴走型の課題解決体制の構築

相談者が抱える空き家の課題をワンストップで解決まで導くために連係する専門家や協力事業者およびその役割を明記したうえで、相談者に寄り添った支援（コンサルティングやフォローアップ）をどのように行うかを記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 連係する専門家や協力事業者およびその役割 |  |
| 相談者に寄り添った支援をどのように行うか  （コンサルティングやフォローアップ） |  |

（ⅲ）相談受付業務に対する意欲と具体的な取組

空き家所有者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の利用促進策などの取組について提案すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 空き家所有者が相談しやすい環境づくり |  |
| 相談窓口の利用促進策 |  |
| その他提案 |  |

1. 空き家解消支援業務の実現性

（ⅰ）低廉な空き家の解消に向けたノウハウ等

一般的に民間の不動産取引で流通が困難である低廉な空き家に関して、リフォームやリノベーションなどを施して価値を付加できる事業者との連携により売却先を模索するなど、除却（解体）する以外の選択肢もあわせて相談者に提案することができる場合、その具体的な手法を記載すること。

|  |
| --- |
| 具体的な手法 |
|  |

（ⅱ）空き家解消に資する独自の取組

成果水準書に規定する相談受付業務および空き家解消支援業務のほかに、空き家の解消に向けた取組がある場合、提案すること。

|  |
| --- |
| 提案 |
|  |